

「2023 年度班長・組長経験者アンケート」調査結果について

丸山町会会長 柳澤 保雄
丸山町会改革推進グループ

丸山町会では、今年度から前年に班長・組長を経験された皆さまに、アンケート調査を実施することになりました。班長・組長の業務について、町会の運営、業務、事業、行事のあり方、進め方についての忌憚のない評価、ご意見、ご要望を頂き、今後の町会改革に活用するねらいです。

丸山町会は、高齢化が進み、新たな問題が山積しています。加えて、町会役員の高齢化も顕著であり、新たな町会活動の担い手不足、次世代への繋ぎ方にも苦慮しているのが現状です。丸山町会の役員・委員の年齢構成は、70 歳以上が 63%、75 歳以上が 47%という構成であり、このまま 5 年間経過すると、町会事業、運営に大きな支障をきたすことは明白な状況です。このような現状を踏まえ、昨年度、丸山町会役員内で「丸山町会改革推進グループ」を立ち上げました。現状の丸山町会の問題を抽出し、今後の取り組み課題を明らかにするために、町会員の代表者である班長・組長経験者 276 人にアンケートを実施いたしました。

190 件、約 70%の回収率があり、82 件の貴重な記述欄の記載を頂きました。班長・組長の皆さまの関心の高さが明らかになりました。

今回掲載するのは、調査結果報告書（数値結果・コメント）と自由記述欄のまとめです。是非ご一読頂き、今回のアンケート調査結果の情報を共有頂き、当町会活動に対する積極的なご参加を頂きたいと思っております。

これから、丸山町会は、皆様からの評価、ご意見にもとづき、具体的な改革を進めていかなければなりません。まずは、丁目ごとの皆様のお困りごとの解決を行うため、一つひとつ取り組んでいく所存です。丁目ごとの班長会議を開催、班長・組長経験者の皆さまにも積極的にご参加頂き、ご意見、ご提案を頂くこととなります。

今後とも丸山町会改革の実践にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。